

函館市病児保育事業に関するアンケート調査
結果報告書

令和7年(2025年)12月

函館市子ども未来部

子どもサービス課

1 調査目的

函館市における病児保育事業について、認知度やニーズ等を把握し、今後の実施方法等の参考とするため。

2 調査概要

- (1) 調査対象：0歳から小学校6年生までの子どもがいる保護者
- (2) 有効回答数：1,454人
- (3) 調査方法：インターネット形式による
- (4) 調査期間：令和7年9月10日（水）から令和7年10月31日（金）まで

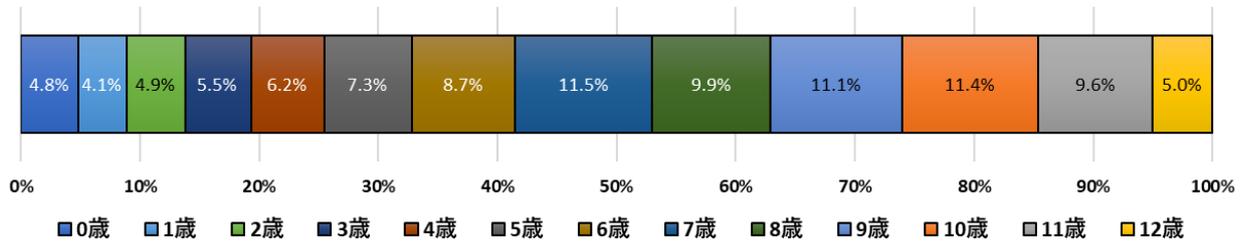
3 留意点

- (1) 各質問のサンプル数は「n＝」で表しています。
- (2) グラフ中の数値は、少数の場合は標記を省略しています。

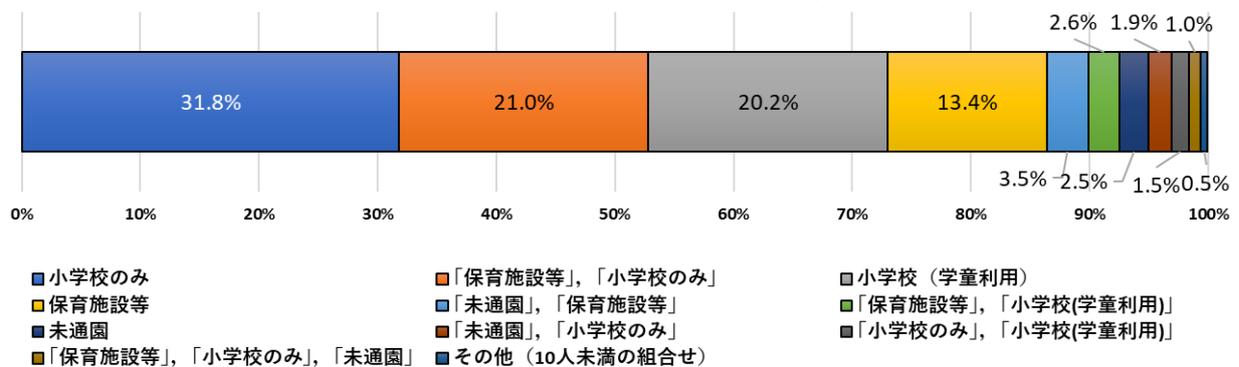
4 調査結果

回答者の子どもの状況

子どもの年齢 (n=2,329)



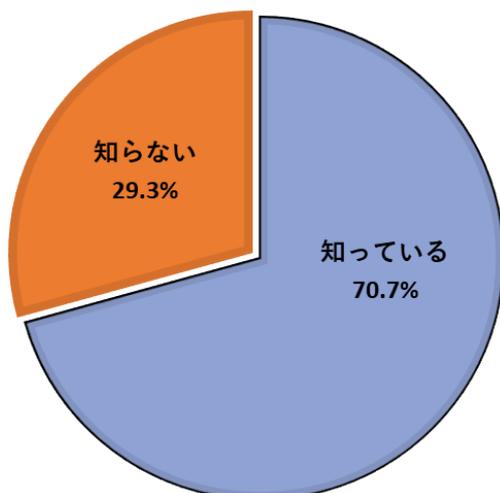
普段子どもが通っている施設 (n=1,454)



※ “未通園” = 通っている施設なし
 ※ “保育施設等” = 「認可保育所・認定こども園・幼稚園」「認可外保育施設」「療育支援施設」
 ※ “「A」, 「B」” = 回答者に「A」に通っている子どもと「B」に通っている子どもがいることを表す。

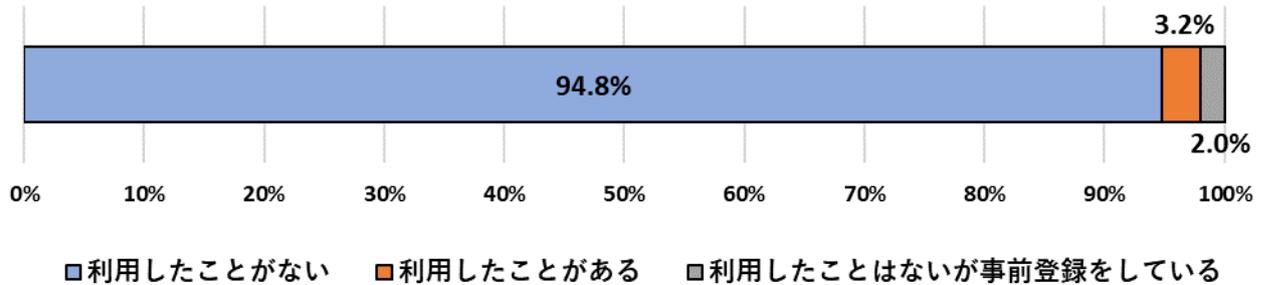
病児保育事業の認知度 (n=1,454)

「知っている」と回答した人は70.7%、「知らない」と回答した人は29.3%となっている。



「知っている」と回答した人の利用の有無 (n=1,028)

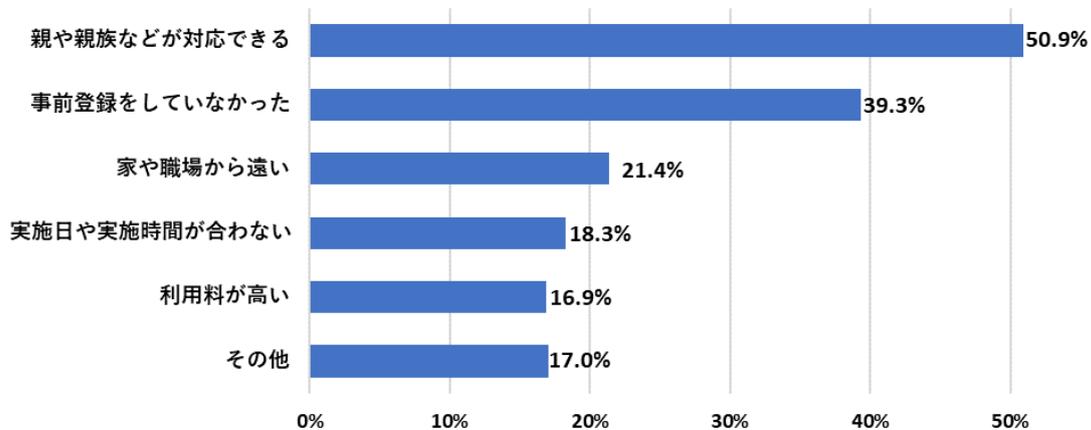
「利用したことがない」と回答した人は94.8%となっており、「利用したことがある」または「利用したことがないが事前登録をしている」と回答した人は、あわせて5.2%となっている。



病児保育事業を知っているが「利用したことがない」と回答した人の理由 (n=974)

※複数回答

最も多かった理由として、「親や親族が対応できる」が50.9%、次いで「事前登録をしていなかった」が39.3%となっている。

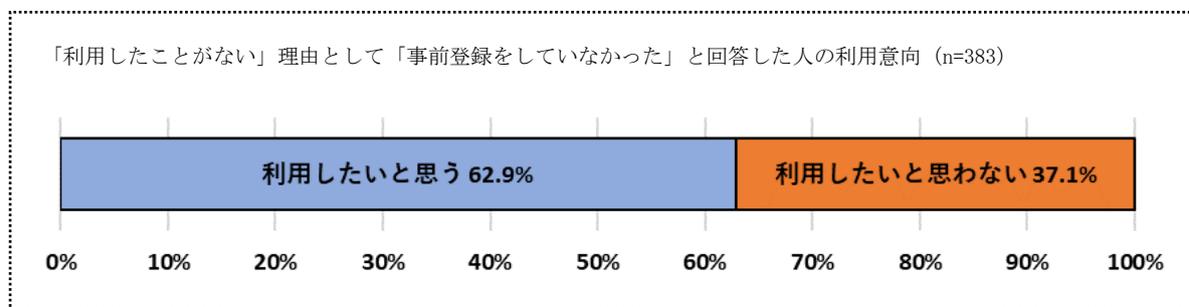
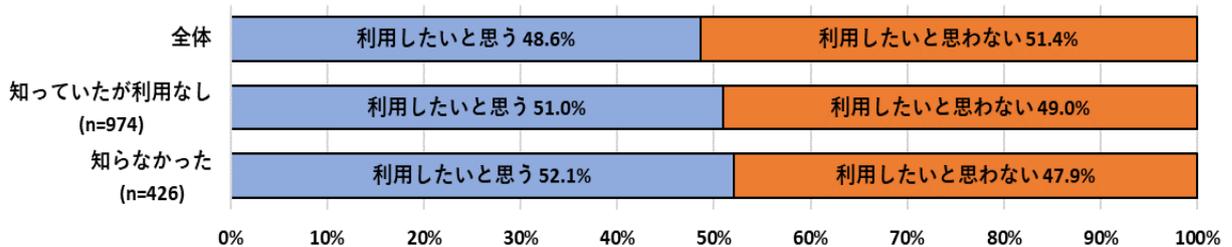


「その他」の主な内容

- ・子どもがまだ病気になったことがない。
- ・詳しい利用方法が不明。
- ・利用できる具体的な症状が不明。
- ・事前登録、医師連絡票など手続きや書類が手間。
- ・当日の食べ物や持ち物が必要など利用のハードルが高い。
- ・病気の子どもを預けるのは不安。
- ・定員が限られているのであきらめている。
- ・気軽に利用できないと感じている。
- ・子どもに支援が必要。

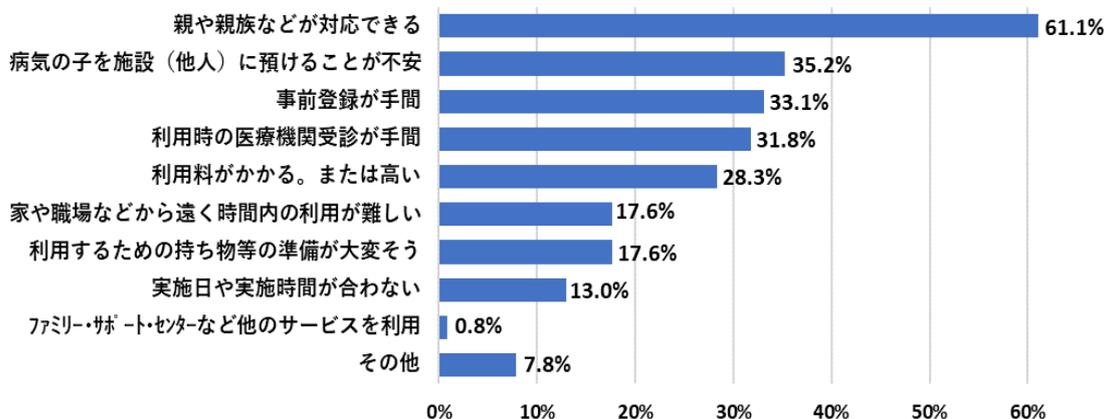
病児保育事業を利用したことがない人の利用意向 (n=1,400)

病児保育事業を「利用したいと思う」と回答した人は48.6%となっており、病児保育事業を「知っていたが利用がなかった人」と「知らなかった人」では、大きな差は生じなかった。また、「利用したことがない」理由として「事前登録をしていなかった」と回答した人について見てみると、「利用したい」と回答した人は62.9%となっている。



病児保育事業を「利用したいと思わない」理由 (n=719) ※複数回答

最も多かった理由は、「親や親族に預けることができる」(61.1%)となっており、次いで「病気の子を施設(他人)に預けることが不安」(35.2%),「事前登録が手間」(33.1%),「利用時の医療機関受診が手間」(31.8%)となっている。

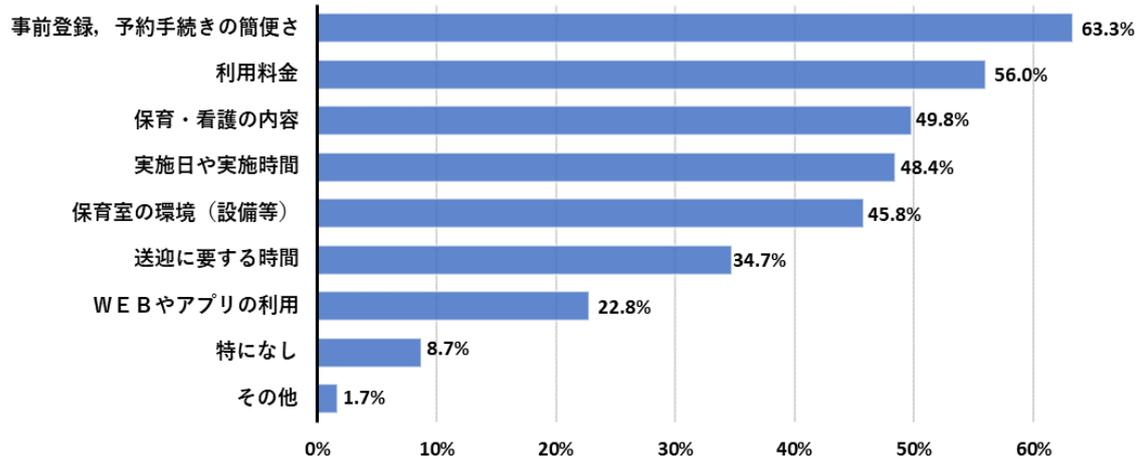


「その他」の主な内容

- ・子どもが留守番できる。
- ・家族が体調不良の場合、職場に出勤できない。
- ・子どもに支援が必要。

利用にあたり重視する点 (n=1,454) ※複数回答

利用にあたり重視する点として最も多かった回答は、「事前登録、予約手続きの簡便さ」(63.3%)、次いで「利用料金」(56.0%)、「保育・看護の内容」(49.8%)、「実施日や実施時間」(48.4%)、「保育室の環境(設備等)」(45.8%)となっている。



「その他」の主な内容

- ・子どもの心身への影響

その他意見 (主な意見を抜粋)

(1) 実施内容に関すること

- ・家や職場から遠いので送迎を考えると実施時間が足りない。
- ・料金が低い。
- ・持っていくものを少なくし、給食も出してほしい。
- ・預けた子どもの様子をアプリなどで連絡してほしい。

(2) 手続きに関すること

- ・事前登録や医師連絡票が必要など、利用にあたってのハードルが高い。
- ・WEBやアプリを活用した手続きや予約ができるようにしてほしい。
- ・手続きを簡単にしてほしい。

(3) 環境整備に関すること

- ・市内複数箇所で実施してほしい。
- ・支援が必要な子どもにも対応してほしい。

(4) 周知に関すること

- ・具体的な利用方法や保育内容が知りたい。

(5) その他

- ・利用した時は助かった。
- ・子どもが病気的时候はそばにできるだけいたい。
- ・子どもが病気的时候には仕事を休めるような社会になったほうがいい。

質問事項

- (1) 小学校6年生以下の子どもの年齢と普段通っている施設（全員）
- (2) 病児保育事業をご存じですか（全員）
 - i) 知っている
 - ii) 知らない
- (3) 病児保育事業を利用したことがありますか（知っている人が回答）
 - i) 利用したことがある
 - ii) 利用したことはないが事前登録をしている
 - iii) 利用したことがない
- (4) 利用したことがない場合の理由
 - i) 事前登録をしていなかった
 - ii) 親や親族などが対応できる
 - iii) 家や職場から遠い
 - iv) 実施日や実施時間が合わない
 - v) 利用料が高い
 - vi) その他
- (5) 病児保育事業を利用したいと思えますか（利用したことがある人を除き回答）
 - i) 思う
 - ii) 思わない
- (6) 利用したいと思わない理由
 - i) 親や親族などが対応できる
 - ii) 家や職場などから遠く時間内の利用が難しい
 - iii) 事前登録が手間
 - iv) 利用時の医療機関受診が手間
 - v) 利用料がかかる。または高い
 - vi) 実施日や実施時間が合わない
 - vii) 病気の子を施設（他人）に預けることが不安
 - viii) 利用するための持ち物等の準備が大変そう
 - ix) ファミリー・サポート・センターなど他のサービスを利用
 - x) その他
- (7) 利用にあたって重視する点はなんですか（全員）
 - i) 特になし
 - ii) 保育・看護の内容
 - iii) 保育室の環境（設備等）
 - iv) 実施日や実施時間
 - v) 事前登録，予約手続きの簡便さ
 - vi) 利用料金
 - vii) 送迎に要する時間
 - viii) WEB やアプリの利用
 - ix) その他
- (8) その他意見